



上空から望む茨木市街地

# 市議会だより

No.197

平成24年1月1日

## ● 主な内容

各会派新年の抱負 2  
議会日誌 3

謹賀新年

年頭のごあいさつ



市議会議長

大谷 敏子



市議会副議長

羽東 孝

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成24年の新春をお健やかに迎えのこ  
とと、心からお慶び申し上げますとともに、日頃から茨木市  
議会への温かいご理解とご協力に対しまして、厚くお礼を申  
しあげます。

昨年3月に発生した東日本大震災によって、我が国は今ま  
で経験したことのない甚大な被害を被りました。被災された  
方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復  
旧、復興をお祈り申し上げます。

さて、今、先行きが不透明で、将来を展望することが難し  
い経済情勢にもかかわらず、茨木市では、企業跡地に立命館  
大学の進出や次世代環境都市の建設、また、JR新駅が設置  
されるなどの明るい計画が発表され、私たちのまちが大きく  
発展するチャンスを迎えています。

市議会といたしましては、市民にわかりやすく開かれた議  
会をめざし、一昨年から議会改革の取り組みについて議論を  
重ねてまいりました。本年も、議会機能のさらなる充実のた  
め、引き続き取り組んでまいります。

市民の皆様には、本年も変わらぬご理解とご協力をお願い  
申し上げますとともに、幸多き年になりますよう心から祈念  
いたしました、年頭のごあいさついたします。

市議会  
だより



## 公明党

新しい年が明け、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。旧年中は、公明党および公明党茨木市議会議員団7人に対し、真心こもるご支援を賜り、心から感謝申し上げます。皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

さて、昨年3月の東日本大震災、8月には台風12号による甚大な被害もたらされ、深い悲しみに沈みました。被災された方々や関係の方々を重ねて衷心よりお見舞いを申し上げます。また、一日も早い復旧、復興を心からお祈り申し上げます。

国内観測史上最大の東日本大震災に對して、その直後から、公明党のネットワークを最大限に活用し、被災地からの声と具体的な対策を政府に届けてまいりました。特に、国の「復興基本



青木 順子



篠原 一代



河本 光宏



村井 恒雄



大島 一夫



松本 泰典



坂口 康博

法」には、公明党の強い主張で、女性、子ども、障がい者等を含めた多様な国民の意見が反映されるべきであることなどが盛り込まれました。

この大震災を機に、今後起こると予想されている東南海・南海地震などを想定した早急な対応が求められています。公明党は、昨年6月には、府下各市町村の災害対策の状況を調査し、その後、地域の皆様とともに避難所に指定されている学校施設45校を見学し、安全性や防災機能の現状を把握しました。こうした調査活動に基づき、公明党茨木市議会議員団は、防災機能の一層の強化が不可欠であるとの認識に立

整備すること、被災者への迅速な行政サービスの提供ができるように被災者支援システムを導入すること、学校などの避難所の安全対策や機能の向上などを提案し、推進しています。これからも、安全と安心のまちづくりを強く進めてまいります。

また、市民に、より開かれ、活性化のために、「議会改革・活性化検討委員会」を設置し、本年秋の議会基本条例の制定を目指し、取り組んでいます。さらに、3つのワクチン（子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン）の公費助成、妊婦成人T細胞白血病ウイルス検査の公

費助成、がん検診の無料クーポンの継続（乳がん・子宮頸がん）と拡充（大腸がん）、胃がん検診の増加、乳がん・子宮頸がん検診の日曜日実施、乳幼児医療費の公費助成を小学校3年生までに拡充、学校校舎の耐震工事の促進、小学校普通教室へのエアコン設置、学校の支援員やサポーター等の増員、発達支援や療育施設の拡充（こども健康センター）、緊急雇用創出のための事業拡充などを実現してまいりました。さらなる市民サービスの充実と行財政改革を進めてまいります。

茨木市はここ数年、大手企業の本社や工場の移転が続き、その跡地開発の具体化が求められてきました。昨年、各跡地で茨木の将来の街づくりに影響がある未来性のある次世代型の計画が発表されました。いよいよ本年は、これらの計画を具体化していく重要な節目となる1年になると思います。

公明党茨木市議会議員団は、安心して住み続けられるまちづくりを目指し、全力で働いてまいります。どうか本年もよろしくお願ひ申し上げます。

# 抱負

## 日本共産党

新年あけましておめでとございませう。昨年は東日本大震災や台風12号など未曾有の自然災害がありました。市内の関係者の皆さんに、心からお見舞



朝田 充



畑中 剛



阿字地洋子

い申し上げます。さて、2010年度、茨木市は老人

し予算を犠牲にする一方、7.7億円の黒字を計上しました。さらに「後

障害者医療費  
単独助成の廃止、下水道料金引き上げ  
といった暮らし

# 各党派 新年の

新春のお慶びを申しあげます。無所属の議員5人で結成する私たち「刷新市民フォーラム」は、①政党や組織にとらわれず、②市民の代表として、③現在だけではなく未来の茨木市像を考え、④党派内でも議論をつくり、判断・決断・行動することを基本理念とし、昨年も活動してまいりました。

## 刷新市民 フォーラム

年度の財政負担の軽減」と称して55億円もの財源を積立金の積み増しにあり、必要な市債の発行を中止するなど、大規模プロジェクトに備える財政運営に終始しました。

こうした中でも2011年度、党市議団は「市民の暮らし優先の財政運営を」と主張し、皆さんと力を合わせて、乳幼児医療費助成を小学校3年生まで拡充、妊婦健診公費負担を拡充、病児保育事業の拡充、小学校普通教室へのエアコン設置等を実現できました。

明けて2012年。今年も原発ゼロ・自然エネルギー転換を求めるとともに、市民の皆さんと一層力を合わせ、市民犠牲をやめさせ、国保料と介護保険料の引き下げや、特に、この間22億円も後退した教育予算の復活、住宅リフォーム助成制度、公契約条例、バス路線拡充や運賃助成の創設へ、全力を尽くしてまいります。どうか本年もよろしく願いいたします。

昨年3月に発生した東日本大震災で被災された皆様に、改めてお見舞いを申しあげるとともに、亡くなられた方々に心から哀悼の意を表します。大震災が発生してすでに9か月が経過しましたが、原発事故の解決には相当な時間がかかる上、残念ながら復興の本格化への道筋は未だ見えていない状況です。

国内経済においては、震災の復興需要による景気を持ち直しが期待されるものの、巨額の財政赤字による債務残高の増加に加え、世界的な金融経済危機による歴史的な円高の進行、雇用情勢の低迷化などがあり、先行きは依然厳しい状況です。さらに、復興財源・社会保障の安定財源確保のため、消費税・所得税の増税の議論も浮上しています。また、PPPの議論も始まり、国の産業・労働政策、災害危機管理のあり方やエネルギー政策の抜本的改革が必要な転換期を迎えています。

このように国の形が流動的な状況



辰見 登



岩本 守



羽東 孝



小林美智子



桂 睦子

の中ですが、茨木市では希望の兆しも見えています。立命館大学進出やJR新駅設置、東芝工場跡地のスマートシティ建設計画などの都市基盤整備に加え、地域コミュニティ基本指針策定など、地域活性化に向けた基盤整備により、自主・自律への道を進みはじめました。

また、議会においては、平成22年10月から始まった「議会改革・活性化」の中で、多様な市民の縮図である議会の役割を改めて問い直し、より市民に開かれた議会となるよう、市民と議会の約束を示す議会基本条例の制定に向け、引き続き取り組んでまいります。

未来のまちをつくり、自治を担うのは行政や政治家ではなく、市民です。私たち刷新市民フォーラムは、多くの皆さんと対話を重ねながら、何を選び、何を見直すのかを選択し、国や府に振り回されることなく、茨木市が安心して、充実した暮らしが営めるまちとなるために、そして、将来を見据えたまちづくりのために努力してまいります。本年もよろしく願いいたします。

に向けた取り組みは、本年が正念場です。二元代表制の一翼を担

## 議会日誌

### 10月

- 11日 議会広報委員会
- 13日～14日 文教常任委員会行政視察（島根県雲南市・出雲市）
- 18日～19日 総務常任委員会行政視察（静岡県三島市・浜松市）
- 19日～20日 建設常任委員会行政視察（岡山県総社市・広島県福山市）
- 20日～21日 民生常任委員会行政視察（熊本県八代市・熊本市）
- 24日 議会基本条例検討部会
- 25日 議会広報等検討部会

### 11月

- 10日 議会基本条例検討部会  
議会広報等検討部会
- 16日 議会基本条例検討部会
- 21日 議会広報等検討部会
- 24日 幹事長会
- 28日 議会運営委員会
- 30日 本会議（臨時会）  
幹事長会  
議会運営委員会

だ市  
議  
り



# 民主みらい

新年あけましておめでとつございませす。市民の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

日頃は、私たち民主みらい議員団に対し、温かいご指導、ご鞭撻を賜り、心から感謝と御礼を申しあげます。

私たちは、本年も6人が心と力を合わせ、豊かな茨木の街づくりのため、全力で取り組む決意です。

さて、昨年、3月11日に発生した東日本大震災では、地震・津波・原発事故と3つの災害が重なり、大きな被害が発生しました。

今もなお、3千人を超える方の行方がわからず、7万人を超える方が不自由な避難所生活を余儀なくされています。被災された全ての皆様に心からお見舞いを申しあげます。

甚大な被害の中でも、他者へのいたわりを忘れない心や、復興に向けて規律ある姿を見せてくれた被災地区の高いモラルが、世界の称賛を集めたことは日本の誇りであり、皆さんの記憶に鮮明に残っていることと思います。

私たちは、災害発生を止めることはできませんが、被害を最小限に食い止めることはできます。自主防災組織の100%結成に向けた取り組みや、災害発生時に機能する訓練の継続実施、建物や道路の耐震化の推進、各避難所の拡



安孫子浩子



滝ノ上万記



中村 信彦



石井 強



田中 総司



友次 通憲

充と災害備蓄品の充実など、防災・減災への取り組みを積極的に推進してまいります。

経済面でも、長引くデフレ傾向や戦後最高値を記録した円高不況、新卒学生の就職内定率の低下などの問題が浮上し、その結果として、完全失業者の増加、非正規社員の増加、生活保

## 自由民主党・絆

新年あけましておめでとつございませす。皆様におかれましては素晴らしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、未曾有の大災害、東日本大震災に見舞われました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。この災害により、今一度、助け合いの精神、絆を育んでいくことの大切さを新たに胸に刻み込みました。

自由民主党・絆は、新たに無所属議

護20万世帯超えなど、世帯間の所得格差は拡大する傾向にあります。

茨木市におきましては、サップロビール工場跡地に

進出学部が決定、フジテック工場跡地にJR新駅開業の計画が決定、東芝工場跡地がスマートシティへと生まれ変わる計画が決定されるなど、未来につながる明るい話題も数多く生まれてきています。

一方、地方主権改革の流れは確実に進んでおり、自治体の権限や責任はま

ますます重くなってきています。

「分権改革」を、単に、自治体への権限や財源の移譲にとどめるのではなく、主権者である皆様により近い、「地域」でそのことを受け止め、子育て支援、高齢者支援、就労支援、市民やNPOとの協働を進めてまいります。

同時に、茨木市議会として進めている「議会改革・活性化」にも積極的に取り組み、二元代表の一方の柱である議会の「分権」時代にふさわしい「あるべき姿」を追及してまいります。

本年も、このような考え方を基本に、市民の皆様には「安心」「安全」「快適」「便利」を実感いただけるまちづくりを全力で取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多い年になりますよう、心からお祈り申しあげ、新年のご挨拶と致します。

進するため、定数削減、議会基本条例の制定に向けて活動を行います。茨木市民の皆様が、日本の伝統文化を尊び、茨木に感謝の思いを抱き、郷土



上田 嘉夫



福丸 孝之



中内 清孝



上田 光夫



大谷 敏子



下野 巖

員を加えて会派を結成し、心機一転活動を行ってまいります。議会改革を推

愛を育み、ずっと住み続けたいと思っ

いります。

①大型プロジェクトについて、昨年は、立命館大学進出・JR新駅・東芝スマートコミュニケーションプロジェクトなど多くの事業が進みだし、本市の発展にとって大変喜ばしいことであると歓迎するとともに、財政支出が一気に増加することから、バランスのとれた財政運営が図れるよう注視してまいります。また、安威川ダム、彩都中部地区開発、新名神高速道路についても早期の完成を目指して取り組んでまいります。さらに、JR茨木駅の利便性を高めるため、エスカレーターを設置などのバリアフリー化、新快速電車の停車など利便性を高めることを決議し、JR西日本に対して要望いたしました。

②茨木市の防災に対する取り組みについて、本市においては、自主防災組

## 【おしらせ】

平成23年11月臨時会と12月定例会の内容につきましては、平成24年2月1日発行予定の市議会だより第198号で掲載を予定しておりますので、ご覧ください。



織結成を推進しております。現在、25地区において設立しており、今後も全地域に結成できるように働きかけを行ってまいります。

③東日本大震災後の対応について、震災翌日には茨木市消防隊員が人命救助に駆けつけ、現在は職員1人が交代で瓦礫処理対応の応援を行っております。まだまだ息の長い支援が必要だと考えておりますので、本市として出来

## 維新の会・みんなの茨木

新しい年を迎え、ご挨拶申しあげます。年頭まずもって、東日本大震災でお亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表します。また被災された皆様にお見舞い申しあげます。

昨年12月に、私たちは、市民の手で茨木市を改革・創造していくこと「維新の会・みんなの茨木」を立ち上げました。

現在、茨木市は大阪の衛星都市の中でも人口が増えている数少ないまちです。高速道路のインターチェンジャ、京阪神を結ぶ幹線道路、鉄道網など交通アクセスも充実しています。しかし、このような状況にも関わらず、相次ぐ大手企業の撤退などが起きました。このまちの機能を十分に活かしていきなかつたのではないのでしょうか。私たちは、これから明確なビジョン

ることを継続していけるように取り組んでまいります。

④生活保護に対する適正な運営について、経済の落ち込みの影響もあり、本市においても、年70億円程度の支出があり、年々増加の一途を辿っております。不正受給が絶対に起こらない厳格で適正な運営を行っていくとともに、国に対しても制度の見直しを行ってもらうよう要望してまいります。



大野 幾子



塚 理



木本 保平



山本 隆俊

のもと、まちづくりを行えば素晴らしいまちに生まれ変わると考えています。災害に強いまちづくりを基本とし、立命館大学を含めたJR茨木駅周辺整備。JR新駅の開発、阪急茨木市駅前整備と府営住宅跡地の利用など、「まちの活性化」と「緑と文化のまち」を調和、発展させ、市民が文化芸術に親しめる「みんなが表現するまち」を目指し、茨木市の未来のグランドデザインを再構築することを提案します。また、議員自ら身を削り、改めて行政の

⑤農業の活性化について、学校給食では地産地消の取り組みを推進し、遊休地対策、後継者問題など、農の活性化について積極的に取り組めます。

今年市長選挙があります。風に流されず軸ブレない市政運営がなされるよう我が会派は、この他、多くの市政課題に取り組んでまいります。皆様の一層のご指導・鞭撻をお願いいたします。

無駄も総点検します。二重行政の無駄を省き、民間でできることは最大限民間に任せます。そこから財源を捻出し、医療、福祉、教育を充実させることを提案します。

過去のしがらみから脱却して、具体的提案と行動で茨木市に元気を取り戻し、未来を創ります。子どもたちへのケをまわさないためにも、押しつけの政治ではなく、選択(洗濯)の政治を行います。本年もどうぞよろしく、お願いいたします。

## 会派に所属しない議員

あけましておめでとございます。



山下 慶喜

原発を推進し利権を貪った電力会社や政治屋が罪に問われな社会の転換を。